【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年6月6日(2023.6.6)

【公開番号】特開2022-173388(P2022-173388A)
【公開日】令和4年11月18日(2022.11.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-213
【出願番号】特願2022-153750(P2022-153750)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月29日(2023.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な入球手段と、
前記入球手段に遊技球が入球した場合、特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段により取得された前記特別情報を、予め定められた所定数を上限として記憶する情報記憶手段と、
前記情報記憶手段に記憶された前記特別情報に基づいて、遊技状態を通常状態から特定状態へ移行させることの移行判定を実行する移行判定手段と、
前記移行判定手段による移行判定の結果が前記特定状態へ移行させることに対応する移行対応結果であったことに基づいて、遊技状態を前記特定状態へ移行させる遊技状態移行手段と、
を備え、
前記特定状態にて移行可能な状態として、遊技者にとって有利な特別状態を有し、
前記情報記憶手段に記憶されている特別情報の数が第１数である場合と、当該第１数とは異なる第２数である場合とで、前記特別状態へ移行する可能性が異なり得る構成であって、前記情報記憶手段に記憶されている特別情報の数を増加させることによりその可能性が変化し得る構成であり、
前記特別状態への期待度に応じた態様にて特定報知を実行可能な特定報知手段と、
前記特定報知手段により開始された所定の特別情報についての特定報知の態様を期待度が異なる第１態様に変更することが可能な手段と、
前記特定報知手段により開始された所定の特別情報についての特定報知の態様を期待度が異なり、前記第１態様とは異なる第２態様に変更することが可能な手段と、
を備えていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、

遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な入球手段と、
前記入球手段に遊技球が入球した場合、特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段により取得された前記特別情報を、予め定められた所定数を上限として記憶する情報記憶手段と、
前記情報記憶手段に記憶された前記特別情報に基づいて、遊技状態を通常状態から特定状態へ移行させることの移行判定を実行する移行判定手段と、
前記移行判定手段による移行判定の結果が前記特定状態へ移行させることに対応する移行対応結果であったことに基づいて、遊技状態を前記特定状態へ移行させる遊技状態移行手段と、
を備え、
前記特定状態にて移行可能な状態として、遊技者にとって有利な特別状態を有し、
前記情報記憶手段に記憶されている特別情報の数が第１数である場合と、当該第１数とは異なる第２数である場合とで、前記特別状態へ移行する可能性が異なり得る構成であって、前記情報記憶手段に記憶されている特別情報の数を増加させることによりその可能性が変化し得る構成であり、
前記特別状態への期待度に応じた態様にて特定報知を実行可能な特定報知手段と、
前記特定報知手段により開始された所定の特別情報についての特定報知の態様を期待度が異なる第１態様に変更することが可能な手段と、
前記特定報知手段により開始された所定の特別情報についての特定報知の態様を期待度が異なり、前記第１態様とは異なる第２態様に変更することが可能な手段と、
を備えていることを特徴とする。